



騒がしい年越し

周りに家族がたくさん集まっている。もう夜の11時半なのに、家族のみんなはゆんたくしたり、お酒を飲んだり、食事などしている。子ども達もまるで昼間のようにしゃいである。近所でも同じような光景が当たり前のように見られる。そう、いつもの年越しの光景だ。

パッと足元に小さな爆竹が鳴る。驚いてはねた自分を見た子ども達が笑って、もっと爆竹を投げってくる。近くの線香花火を手にとって、子ども達を追いかけてようとすると、近所が突然赤色に染められていき、大きくパンと音がたつ。「違法なのに、また花火を打ち上げている」と私が笑ってしまう。

年が明けるまであと5分だ。おじさんは家から2メートルくらいの赤い中国製爆竹を取り、丸い先端から垂れている糸を表門にかける。家族のみんなはアップルサイダーが入っているコップを手に取り、爆竹の近くまで寄っていく。子ども達は我慢できずに、持っているコップからこっそりと飲もうとするが、親に叱られる。

1分前、近所が妙に静かになる。爆竹の音も聞こえないし、花火の打ち上げも見えない。おじさんは長い爆竹に火をつける。火がだんだん近づくと同時に、みんなは10秒のカウントダウンを始める。ゼロになると、爆竹が火花を散らし、周りから何十発かの花火が夜空を彩る。

ハワイは今頃騒がしいだろう。例え場所が違って、年が明けることは変わらない。だからここにいるみんなに言いたい。「ハウオリ・マカヒキ・ホウ（明けましておめでとうございます）」。

A Noisy New Year

It is 11:30PM. Despite that fact, dozens of family members are gathered around, chatting with each other, drinking beer, and eating. Even the kids are running around as though it was still afternoon. Just the usual New Year's Eve scenery.

Some pop-its burst near my feet all of a sudden. The kids took a fancy to my jumpy reaction and begin to throw more pop-its at my feet. I grab some sparklers and begin to chase the kids around when, all of a sudden, a loud bang erupts through the neighborhood which seems to have been painted red. "They're launching fireworks even though it's illegal" I let out a laugh.

Five minutes till midnight. My uncle takes out a two-meter long Chinese firecracker and attaches the string hanging from the ball-end to the top of the front gate. Everyone takes their own cup of apple cider and moves close to the firecracker. The kids are restless, trying to take a sip from their cups as their parents stop them.

One minute to go, and the neighborhood quiets down. No firecrackers can be heard, and no fireworks can be seen. My uncle lights the long firecracker. As the spark moves closer, we all begin to count down from ten. Once the count reaches zero, the firecracker sprays sparks everywhere as dozens of fireworks light up the night sky.

Hawaii is probably all kinds of noisy right now. Even if this is a different place, celebrating the new year is the same. That is why I want to say to everyone here, "Hauoli Makahiki Hou! (Happy New Year)"

てだっ子 STUDIO

いれい こうたろう
伊禮 孝汰朗 ちゃん (10か月) 港川在

はまもり るな
浜盛 瑠音 ちゃん (2歳) 仲西在
鈴音 ちゃん (7か月)

とぞ ゆうま
與座 悠真 ちゃん (2歳) 城間在
諒真 ちゃん (8か月)

「てだっ子 STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。
※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに！

〒901-2501 浦添市安波茶 1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎(876) 1234(内線 2613・2614)
E-mail: kohou@city.urasoe.lg.jp

明けましておめでとうございませす。さて、昨年1月号のこちらのコラムで「うらそえ福祉のまち元年」を宣言したことを覚えていらっしゃるでしょうか。私はこのコラムで浦添市を「沖縄一優しい福祉のまち」にしたいと書いて、あらゆる「多様性」を認め、お互いに尊重し支え合うことが当たり前の「共生」のまちづくり宣言をしました。また、全ての人がその人らしい幸せを手に入れることを、みんなの力で実現できる「誰も置き去りにしないまち」「誰かの幸せを我が喜びとする利他のまち」を浦添から実現していくと呼びかけました。

昨年の秋に誕生した玉城デニー沖縄県知事も選挙戦を通して同じ主張をされています。「自立、共生、多様性」をキーワードに据えて、「誰一人も取り残さない社会の実現」を訴え当選されました。沖縄県も浦添市も同じ時代の方向性の中にあることを再認識した次第です。

ところがその一方で、世界では「多様性を尊重する共生社会」の思想は大きな激震に見舞われています。アメリカのトランプ大統領だけではなく、世界中で「自国益ファースト」とも呼べるような内向きな

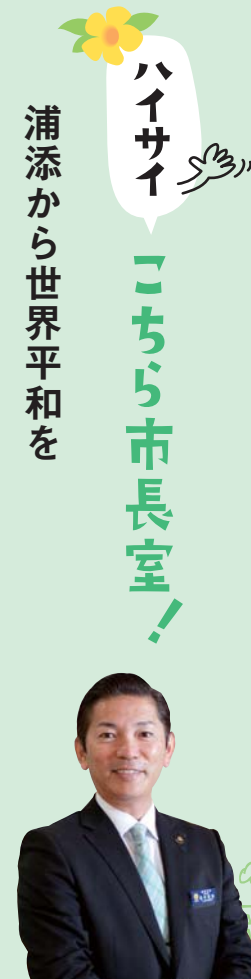


主張が大きくなっています。貿易・経済分野でも安全保障分野でも、多国間協調による解決よりも力を背景とした強制的な決着が多発し、国際社会の欲望むき出しの混沌とした時代の足音が聞こえてくるようです。

しかし、いや、だからこそ、力弱き者、声小さき者、命幼き者の声を大切にする浦添市の歩みこそ世界をも必ず変えていくと信じてみませんか。浦添から世界平和なんて大げさに聞こえるかもしれませんが、世界は繋がっているのです。世界平和もまずは私たち自身からです。身近な人を大切にして、争いをやめて、違いを認めて、過ちを許す。私たちが変われば浦添が変わり、やがて沖縄が、日本が、アジアが、そして、世界が変わります。

全ての市民にとって素敵で有意義で穏やかなこの一年になりますことを。

浦添市長
松本 哲治



ヘルシー宅飲みメニュー 厚揚げの大根おろし添え

レシピ提供：健康づくり課管理栄養士 崎原 和子

栄養成分表示(1人あたり)

エネルギー97kcal／たんぱく質6.1g／脂質5.8g／炭水化物5.4g／食塩0.3g



簡単！健康！サッと作れる！

サッとごはん

材料(4人分)

厚揚げ……………1個(200g)
大根……………80g
ポン酢……………小さじ1/2
(1人あたり)
ねぎ……………適宜
トマト……………1個

作り方

①厚揚げはフライパンで両面をこんがり焼く。
②大根は皮をむいてすりおろし、水気を絞る。トマトはくし形に8等分する
③厚揚げを4等分に切って1人分ずつ盛り付ける。上に大根おろしをのせ、小口に切ったねぎを散らし、トマトを添えて、ポン酢をかける

うめ～しポイント

野菜に含まれるカリウムは塩分を体の外に出すのを促し、血圧を下げる作用があります。

健康づくり課 管理栄養士のみなさん

